

平成30年度愛媛県産業教育研究大会 教育長祝辞

平成31年2月1日（金）
東京第一ホテル松山

平成30年度愛媛県産業教育研究大会が、多数の関係者の皆様の御出席の下、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃から、本県の産業教育の充実・発展にひとかたならぬお力添えをいただいておりますことに、厚くお礼申し上げますとともに、長年にわたって産業教育の振興に力を尽くされた御功績により、表彰を受けられる皆様に対しまして、深く敬意を表する次第です。

皆様方の御支援、御協力により、この春卒業予定の本県高校生の就職状況につきましては、非常に高い水準で内定をいただいております。これも、求人開拓や就職支援に御尽力いただいている関係者の皆様、また、本日お集まりの関係機関の皆様の御支援・御協力のおかげであり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後とも、就職を希望する高校生全員が、社会人としての新たな一步を踏み出せるよう、更なる御支援をお願いいたします。

また、各学校におかれましては、日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技の部最優秀賞受賞や若年者ものづくり競技大会電子回路組立て職種で金賞受賞、高校生の作文コンクール国土交通大臣賞受賞など、教職員の皆様の熱心な指導の下、多くの生徒が全国を舞台に活躍しており、大変心強く感じているところです。

さて、現在、人口減少対策が全国的な課題となる中、今年度、教育委員会では公立中学校の生徒を対象に5日間の職場体験を行い、中学生段階で望ましい勤労観や職業観を身に付けるとともに、地域産業や企業等の魅力を発見するキャリア教育を推進してまいりました。県内には世界に誇れる技術や技能を持った企業がたくさんあることを知ること、学生が、大学や高校を卒業し、将来、就職先を考える際に県内の企業等を選択する一助になるのではないかと考えており、今後も取組を進めてまいります。

今月9日には、ひめぎんホールにおいて、全県立高校と中予地区の中学校の代表生徒が一堂に会して、様々な学習の成果を共有する「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」と「えひめジョブチャレンジU-15フェスタ」を合同で開催します。また、東予、南予地区においても同フェスタを開催し、職業学科のPRコーナーを設置することで、中学生や保護者に職業学科の取組を紹介し、その魅力をアピールすることとしております。

このほかにも、各校において、地域や産業界と連携しながら、地元で学び、地元で就職し、地域の発展に寄与する、いわゆる「地学地就」を目指し、スペシャリストとしての資質や能力を身に付けた、将来の地域を担う人材育成に努めているところです。

こうした職業学科における、地域と連携した体験型の深い学びは、新しい時代を生きる生徒に、専門的な知識・技術の定着を図るとともに、多様な課題に対応できる課題解決能力を身に付けさせることができるものと確信しています。

県教育委員会としましては、今後とも、産業界や地域の皆様方との連携をより一層深め、県内産業の発展に貢献するとともに、見通しのきかない現代を生き抜くことができる人材の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、御協力と御支援をお願いいたします。

結びに、本会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。